

令和6年度大田区防災会議（第2回） 議事要旨

1 日時

令和7年3月27日（木）午後2時から3時

2 参加者

別紙「令和6年度大田区防災会議（第2回）出席状況」のとおり

3 議題

- (1) 令和6年度災害対策本部運営訓練の実施成果について（資料番号2）
- (2) 令和7年度災害対策本部運営訓練の構想について（資料番号3）
- (3) 令和6年物流訓練の実施成果について（資料番号4）
- (4) 令和7年度総合防災訓練の実施について（資料番号5）
- (5) 民間企業との災害時協力協定の締結について（資料番号6）
- (6) 災害時の要配慮者対策について（資料番号7）
- (7) 令和6年防災基本計画の修正を踏まえた在宅避難の促進について（資料番号8）

4 議事要旨

上記議事について、資料に基づき事務局から説明を行った。

具体的には、以下の通り。

- (1) 帰宅困難者対策や遺体取り扱いなどの訓練を実施し、約17,000人の帰宅困難者の受入体制、726体の遺体対応体制を検証。救命救助訓練では警察・消防・自衛隊との救助実動訓練を実施した。
- (2) 令和7年度は救命救助、災害時物流、遺体の取り扱いを重点項目として設定し、民間事業者と協力した実働訓練を予定している。
- (3) 民間企業と災害時協力協定を締結し、物流体制が強化された。その検証として避難所への物資輸送訓練を実施した。現状の課題や抽出訓練成果について説明後、訓練内容をまとめた動画を放映。
- (4) 令和7年度の総合防災訓練の実施概要について説明。検証すべき課題として、要配慮者への対応やデジタル技術を活用した避難所運営などが挙げられた。
- (5) 民間企業28社と新たに災害時協力協定を締結（主な締結内容として、通信障害復旧、資機材供給、災害時の道路啓開、福祉事業所による安

否確認などを紹介)。

(6) 要配慮者の個別避難計画作成を推進(累計 450 件、高齢者や障害者を優先的に作成。)。福祉避難所の拡充や備蓄品の充実を図る。

(7) 在宅避難の促進に向け、備蓄や耐震化支援を強化。避難所への避難者数抑制を目指す。

5 委員からの意見・要望など

今回の訓練を踏まえて、今後の訓練もより実態に即した内容にすべき。

物流訓練は道路状況や季節・時間帯を考慮した内容にすべき。

認知症の方への配慮をはじめとする要配慮者への情報提供の改善やヘルプカードの活用について要望あり。

上記のご意見について、区として今後の防災対策に盛り込むことのできるよう貴重なご意見として拝受した。

6 その他

会議の最後に組織改正に伴う災害対策各部の事務分掌の変更について説明があり、閉会。